

日本原子力学会 2012 秋の大会 バックエンド部会企画セッション 「地層処分事業の着実な実施に向けて」参加報告

バックエンド部会運営委員 川上進*1

9月20日(木)、広島大学にて開催された日本原子力学会2012秋の大会において、「地層処分事業の着実な実施に向けて」と題するバックエンド部会企画セッションが開催された。

本セッションは、バックエンド分野で活躍されてきた新堀雄一教授(東北大学)が座長を務め、セッションの開催趣旨説明があった後、2件の講演が行われた。最後には、講演者をパネリストとして総合討論が行われた(開催プログラムは末尾の通り)。

はじめに、田村明男氏(NUMO)より、これまでのNUMOにおける地層処分の技術的信頼性と安全確保に関する取り組みの経緯や、東日本大震災後のNUMOにおける検討状況についての講演があった。前者については、第2次取りまとめの評価におけるOECD/NEAの指摘による断層シナリオ検討の取り組みや、NUMOの2010年レポートで技術の進展状況を提示するとともに安全確保の考え方を示し、事業の段階的な進展における意思決定の情報を残すことが重要であることが報告された。後者の震災後においては、2010年レポートでの安全確保の考え方について追加検討を行い、想定を超える外部事象への対応を検討し、施設の総合的頑健性が確保でき、万が一の事故対応も可能である見通しが得られていることを示し、また合意形成に関する取り組みとして、技術面からの方策を示すとともに不確かさへの対応策として回収性や可逆性を検討しておくことが重要であると報告した。2012年9月に日本学術会議より原子力委員会に出された「高レベル放射性廃棄物の処分に関する取り組みについて(回答)」についても触れられ、暫定保管や総量管理について全体量が把握できないと一般からの理解が得られないだろうとのこと。地層処分場の選定作業と同様であるが、福島第一原発事故における中間貯蔵、最終処分場の選定プロセスにおいても国民的コンセンサスを得ることが必要であろう。

続いて、朽山修氏(原安協)より、地層処分の実施に向けて進むべき道として講演があった。講演では、地層処分における処分の専門家に与えられた課題は、時間的(閉鎖後未来永劫)にも空間的(深さ数百m、数平方km)にも経験のないレベルのもので、前代未聞の難題であり、処分の専門家ではない一般の国民が簡単に理解できるわけがないこと、ステークホルダーの懸念は不信感であり、また分

業化社会においてはリスクが不平等に分配されていることが指摘された。このように不信関係にあるステークホルダー間の信頼関係の構築のためには、一般の国民が廃棄物を今後どうするのがよいかを冷静に判断してもらう必要がある。そのため、関係のあるステークホルダーが、プロセスの意思決定に参加してもらうことが必要であり、事業主体は地元を対等のパートナーとして認めることが必要であると指摘している。最後には、処分の専門家に対して、相手のいる問題として実践的に解決することが必要であり、処分の専門家は「狭い専門の蝸壺から飛び出せ」、また社会科学を勉強しないとだめ、との言葉が印象的であった。

講演後の総合討論では、高レベル廃棄物だけではなく福島第一原発の廃棄物の中間貯蔵や最終処分場などの施設建設などにおいても同様に地元の理解を得ることが困難な状況に直面しており、国民的コンセンサスが必要となるとの意見が出されていた。

セッションでは、会場のほぼ半数以上の席が参加者で埋められ、質疑も活発に行われ盛況であった。

開催プログラム

座長 (東北大学) 新堀雄一

- (1) 地層処分事業の実施に向けた技術的取り組み—東日本大震災を踏まえて
(NUMO) 田村明男
- (2) 地層処分の実施に向けて進むべき道
(原安協) 朽山修
- (3) 総合討論「地層処分事業の実現に向けて、我々は何をすべきか」

Report on the session of the NUCE in 2012 AESJ Spring Meeting, "For the steady implementation of geological disposal project", by member of J. NUCE publishing committee, Susumu KAWAKAMI (susumu_kawakami@ihi.co.jp)

*1 株式会社 I H I 原子力セクター 溶融炉プロジェクト部
Vitrification Technology Group, Melter Project Department,
Nuclear Power Operations, IHI Corporation
〒235-8501 神奈川県横浜市磯子区新中原町1番地

